

質問しつもん

まちづくりや暮らしに関する制度など、市のあらゆる事業、方針について議員が質問する中で、主張・提言・指摘します。

市の重要な施策の決定を、この本会議で行っています。

3月定例会は代表質問のみです。会派を代表しての質問時間は答弁とあわせて90分です。

三田市議会会議録

検索

三田市議会インターネット中継

草莽の会

今北 義明 議員



新政みらい

厚地 弘行 議員



市政

市長の考える三田市の未来像は…

議員 竹内市政8年間の実績を大きく評価する。市長が考える「三田市の未来像」はどのようなものか。

市 人間中心のまちへ

三田市には、共に生き、共に支える人、様々な都市機能の集積と地域固有の文化を持つまち、私たちの生活に潤いをもたらす豊かな自然がある。これからも、全ての市民の皆さんにとって「住みたい、住み続けたいまち」であり、幸せと生きる喜びを享受できるまち、次代を担う子どもたちが夢と希望が持てる、そのような人間中心のまちであってほしい。(市長)

地方創生

三田市としての地方創生の取り組みは

議員 日本全体が人口減少へと向かう中で、他都市からの人口流入施策のみで良いのか、三田市としての地方創生の取り組みをどのように考えているのか。

市 出生率向上の取り組みを充実

転入者増加のみに焦点を当てた取り組みだけでなく、三田市に安心して住み続けられる施策、進学や就職で一度本市を離れても、再び帰ってきたいくなる施策とともに、子育て環境を更に充実するなど、三田で子どもを産んでいただける、出生率向上の取り組みも充実していく。(市長)

他の質問 ふるさと納税のこれからとシティセールス、窓口業務の拡大、地域担当制とふるさと地域交付金、県道三田後川上線(工事)の進捗、市民病院の今後、サンフラワーの現状、母子小学校小規模特認校に対する支援、上水道の諸問題

説明 *地方創生:国が抱える人口減や少子高齢化などの課題により地方が衰退しつつあるという状況に対し、国と地方が一体となって地域を活性化しようとするもの。

就労

プレゼンによる起業支援をしてはどうか

議員 市内の大学卒業後の職場が少ない。就労対策としての起業支援の考えを聞く。また空き店舗の活用策はどうか。

市 慎重な検討が必要

雇用創出には期待できるが、リスクを伴うので審査体制など慎重に検討していく必要がある。現状は商工会が創業支援セミナーを開催している。空き店舗の活用はこれまでも行ったが持続的になっていない。商工会・商店街と連携し、実態調査を行うと共に賃貸可能な物件の紹介など有効な方法を検討したい。(菟原経済環境部長)

教育

IT教育と図書のビブリオバトル

議員 タブレットの配置などIT教育が広まるが、ネットによる児童生徒への弊害も出てきている。利用についての検討も必要である。また、学校図書においてビブリオバトルを行う事により、話す力、聞く力、表現力また、コミュニケーション能力の向上が期待できるし本も好きになると考える。

市 司書配置他、多様な読書活動を工夫する

フィルタリングや利用時間の制限など家庭でのルールづくりの啓発が必要であると考え。ビブリオバトルは読書活動やコミュニケーションの機会として有効であると考え。(大澤教育長)

他の質問 これからの三田市、シティセールス、新庁舎及び西庁舎・西2号庁舎の改修、三田市国際交流協会と市の関わり、手話言語条例の策定、地域担当制の課題、職員の就業中の運転事故の対策

説明 *ビブリオバトル:自分が面白いと思った本を持って集まり、順番に本を紹介する。発表の後に「どの本が一番読みたくなったか」を基準とした投票を全員で行いチャンピオンの本を決める。

公明党

平野 管子 議員



市民の会第二

榎田 充 議員



教育

小中一貫教育に対する見解と導入の考えは

議員 文科省は小・中学校への切れ目のない学習や教育の質的向上を図り、小規模校の課題である子どもたちの社会性を育む教育の充実のため、小中一貫教育の実施を可能としているが市の見解を伺う。

市 ニーズを踏まえ研究する。

小中9年間のより良い学びの実現のため教育課程の編成の研究が重要と考える。現在進めている小中連携教育の充実を図り一貫教育導入による効果の研究とともに、児童生徒の実態や地域・保護者ニーズを踏まえ導入研究してまいりたい。(大澤教育長)

事務改善

コンビニでの証明書交付の考えについて

議員 今年10月よりマイナンバー制度が導入されるが、それに伴い「マイナンバーカード」による諸証明の発行がコンビニで可能となる。これまでに以上に利便性が高くなると思うが導入について伺う。

市 導入に向け推進したい。

コンビニ交付は、全国の取り扱いコンビニからでも発行でき、利用者にとって大変利便性が高いものとする。また今後、戸籍謄抄本など現行の交付機にない証明書の交付も可能となることから、導入に向け推進していきたい。(佐々木まちづくり部長)

他の質問 三田市の新たなまちづくりに向けた取り組み-地方創生と三田版総合戦略

説明 *マイナンバー制度:社会保障・税制度の効率性・透明性を高めるため、国民一人ひとりに12桁の番号を割り当て、個人情報の確認を行う制度のこと。希望者には個人番号カードが交付される。

地域活性

賑わいと活気のあるまちを目指して

議員 若い世代の定着に向け、学生や若者が余暇を楽しみ、幅広く交流できる場、働ける場、出会う場が必要と考えるが。

市 地域と協議しながら検討

若い世代においては、18歳のみが転入超過となっている。市内の大学等に通う学生の皆さんが市内に住み、様々な活動を行うことで地域が活性化することが期待されるので、何らかの仕掛けが必要と考える。三田駅前Cブロック、新三田駅周辺の開発において地域と協議しながらそのような場づくりも検討していく。(市長)

説明 *三田駅前Cブロック:三田市の玄関口である三田駅前周辺地域の再編成を行う計画において、4つのブロックに区分し順次整備をすすめている。既に完了したAブロック(キッピーモール)、Dブロック(レバンテ三田)、現在整備中のBブロックに続き、Cブロック地区についても計画をすすめている。

教育

「ひまわり特別支援学校」の開校について

議員 「ひまわり特別支援学校」の開校が三田の教育全体にもたらす効果は。

市 特別支援教育の中核を担う

ひまわり特別支援学校は、センター的機能を有する学校であり、専門性を高めた教職員が在籍しており、三田市における特別支援教育の中核を担う。必要に応じて、ひまわり特別支援学校に設置する教育相談室を活用した教育相談、市内教員を対象とした実践的な授業づくり講座、居住地校の肢体不自由学級担任等を対象とした自立活動研修などを実施する。(大澤教育長)

他の質問 予算に込めた市長の想い、高等学校学区再編による動向、「地域力」の向上をどう図るか

説明 *ひまわり特別支援学校:今年4月に開校した、市在住の肢体不自由の児童生徒を対象とした特別支援学校。小学部は富士小学校、中学部・高等部は富士中学校に併設。